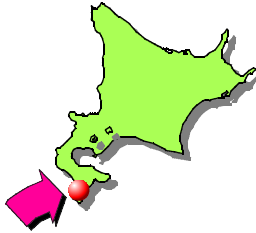


日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信 にぎわい

会員だより



「横綱の里フェスティバル」

やるべ福島イカまつり

北海道 福島町

福島町は、北海道の最南端に位置し、北には大千軒岳がそびえ南は紺碧の津軽海峡に面しています。

福島町は、津軽海峡の海の幸が豊富です。特にイカ漁が盛んで、スルメ生産量は全国の約3割を占める国内最大の生産基地であります。



福島町が「横綱の里」といわれるのは、全国の町村でも例のない二人の横綱「第41代横綱千代の山第58代横綱千代の富士」の生誕の地であることからです。

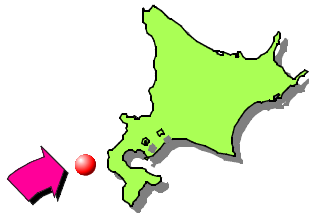
平成9年4月に町の中核施設として「横綱千代の山・千代の富士記念館」がオープンしてから、毎年九重部屋の若手力士が記念館内の稽古土俵で夏合宿しており、迫力ある稽古を見学できます。

「横綱の里フェスティバル・やるべ福島イカまつり」は、国技大相撲をイベントに取り入れ、相撲をテーマとしたまつりです。イベントには、夏合宿に来てい

る九重部屋の若手力士が参加して祭りを大いに盛り上げています。会場内では、力士による本場の2,000人分の「どすこいめちゃんこ鍋」や力士を交えての「横・綱引き大会」、「舟漕ぎ大会」、「活イカつかみどり大会」、「活イカつり大会」などユニークなプログラムが力士と楽しく繰り広げられています。フィナーレは、夏の夜空を彩る「海峡花火大会」で福島の町を飾っていますので、是非、一度訪れてみてください。



会員だより



「タイムカプセル開函記念 なべつる祭」 北海道 奥尻町

奥尻町は北海道の最西端にある周囲84kmの離島です。島の周囲には、日本海の荒波に造形された奇岩が数々あり、なかでも「なべつる岩」は、高さが19.5mの頂上に緑の帽子を載せたドーナツ状の不思議な岩で島のシンボルになっています。

そのなべつる岩のお祭、奥尻3大祭最後のなべつる祭が今年は8月25・26日に奥尻港特設会場で行われます。なべつる祭とは住民参加型のお祭で、昨年大好評だったまめつぶ飛ばし大会、早食い早飲み大会、ダーツ大会、ビンゴ大会、丸太相撲大会、尻相撲大会などのイベントを今年も予定しています。他にも特産品販売やお楽しみ抽選会なども予定しています。

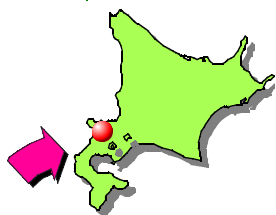


特に今年は「タイムカプセルうにまる」の開函セレモニーも併せて行われます。「タイムカプセルうにまる」とは平成元年に全国から21世紀に夢を託す手紙、写真、音声テープなどのメッセージを募集し、それを保管して2001年と20

09年にそれぞれ指定された受取人に届けるという事業で、今年は約3万通を開函し受取人に届けます。

それを記念しての歌謡ショーを8月26日に同会場で行います。特設ステージでは「タイムカプセルうにまる」のテーマソング「うにまるちゃん」や「奥尻はいま」を歌っている島津亜矢さんの歌謡ショー他を予定しています。

会員だより



「新港地区緑地にモニュメント像完成」

北海道 岩内町

岩内港は、北海道西海岸の中央積丹半島の西側に位置し、本地域の商港として発展してきた地方港湾です。昭和58年から新港地区の-8.0m岸壁の整備に着手し、平成2年7月の完成により、新潟県直江津港との間に大型フェリ-が就航(現在運休中)し、後志地域の経済、産業、生活を支える商港として重要な役割を担っています。

モニュメント像「アテナ」は、新港開港10周年の記念として平成12年7月に新港地区緑地に完成しました。

「アテナ」はギリシャ神話に登場する知恵の神、平和を愛する神として最も人気のある女神であり、船をはじめ多くの技術を発明したとされています。

アテナ像は、ブロンズ仕上げ、高さ6m、重さ6tで右手に携えたやりは長さ7.5m、槍の上にアテナの使者を努めます「知恵を運ぶ鳥」といわれるフクロウがとまっています。

像の周囲にはアルミ合金製の高さ3m、ギリシャ風の列柱6本のほか噴水や池が造られ、夜間は6基の水中照明がライトアップします。

本緑地も平成12年9月に第1工区分の約4,350㎡が完成し、町民に開放され、近隣の小学校の写生会や保育園児の遠足など、多くの住民の憩いの場として利用されています。



編集 問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

国土交通省 北海道開発局 港湾計画課 調査係内

TEL :011-709-2311(内線5617)

FAX :011-709-2147

E-mail kiguchi-a22aa@hkd.mlit.go.jp